

第 67 回県通信陸上競技大会 練習会場の使用について

【メイン競技場】

1 日 時

令和3年6月26日(土) 7:30~8:30
27日(日) 7:30~8:30

※メイン競技場で練習が行えるのは、競技会に出場する選手に限る。

2 使用方法

(1) ホームストレート(トラック内側への横断は禁止とする)

1~2レーン 周回練習(アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う)

3~5レーン スタートダッシュ(スターティングブロック設置)

6~7レーン 100mH練習(スターティングブロック設置)

8~9レーン 110mH練習(スターティングブロック設置)

(2) 第1曲走路~バックストレート~第2曲走路

1~2レーン 周回練習(アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う)

3~6レーン リレー・短距離

7~9レーン スタートダッシュ(スターティングブロック設置)

※事故防止のため、3~9レーンにおいては、第2曲走路からホームストレートへ走り込むことを禁止する。また、7~9レーンにおいては、第1曲走路からバックストレートへ走り込むことを禁止する。

(3) フィールド内

①走幅跳は、ホームストレート外側に2ピット設置しており使用できる。

②走高跳は、第2曲走路内の2ピットを使用できる。

③棒高跳は、バックストレート外側に1ピット設置しており使用できる。

④砲丸投の練習は、第1曲走路内に2ピット設置しており、サークル内でのグライド練習のみ認める。

※投てき練習は不可。

3 注意事項

(1) 選手は、安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、曲走路から直線スタートダッシュレーンやハードル練習レーンへの走り込みは絶対にしない。また、競技役員の指示に従い、事故のないように注意する。

(2) アップや動きづくりは補助競技場または投てき練習場の決められた部分を使用する。

(3) 入場の際は、選手はアスリートビブス(ナンバーカード)、監督・コーチはAD(リストバンドは不可)を提示する。提示のない者は入場できない。また、選手・監督・コーチ以外の立ち入りを禁止する。

(4) リレーマーカーについては使用後必ず各自で撤去すること。

(5) 傘の使用は他の迷惑にならないように十分注意すること。状況によっては使用を制限する場合があるので、指示に従うこと。

【補助競技場】

1 日 時

令和3年6月26日(土) 7:30~16:30
27日(日) 7:30~15:30

※補助競技場で練習が行えるのは、競技会に出場する選手に限る。

2 使用方法

- (1) ホームストレート（トラック内側への横断は禁止とする）
 - 1～2レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）
 - 3～4レーン スタートダッシュ（スターティングブロック設置）
 - 5～6レーン 100mH練習（スターティングブロック設置）
 - 7～8レーン 110mH練習（スターティングブロック設置）
- (2) 第1曲走路～バックストレート～第2曲走路
 - 1～2レーン 周回練習（アップやペースの遅いジョギングは縁石内で行う）
 - 3～5レーン リレー・短距離
 - 6～8レーン スタートダッシュ（スターティングブロック設置）※事故防止のため、レーンに立ち止まったり、レーンを歩いて戻ったりすることを禁止する。
- (3) フィールド内
 - ①走幅跳は、第1曲走路外側（体育館側）に2ピット設置しており使用できる。
 - ②走高跳は、第1曲走路内の1ピットを使用できる。
 - ③棒高跳の練習は、メイン競技場内のみ使用できる。
 - ④砲丸投の練習は、投てき練習場のみ使用できる。

3 注意事項

- (1) 選手は、安全確保のため、レーンの使用区分をよく守ること。特に、曲走路から直線スタートダッシュレーンへの走り込みは絶対にしない。また、競技役員からの指示に従い、事故のないように注意する。
- (2) アップや動きづくりは芝生内を使用する。
- (3) 入場の際は、選手はアスリートビブス（ナンバーカード）、監督・コーチはAD（リストバンドは不可）を提示する。提示のない者は入場できない。また、選手・監督・コーチ以外の立ち入りを禁止する。
- (4) リレーマーカーについては、使用後必ず各自で撤去すること。
- (5) 傘の使用は他の迷惑にならないように十分注意すること。状況によっては使用を制限する場合がありますので、指示に従うこと。

【投てき練習場】

1 日時

令和3年6月26日（土） 7：30～13：00
27日（日） 7：30～12：30

※投てき場で練習が行えるのは、競技会に出場する選手に限る。

2 使用方法

- (1) 投てき練習
1ピット使用できる。
- (2) 上記以外の練習
アップ・動きづくり・流し・ダッシュについては投てき練習場奥の芝生エリアを使用すること。
- (3) 練習用の砲丸は、各校で用意したものを使用すること。持ち込みは砲丸とメディスンボールのみ。

3 注意事項

- (1) 選手のみでの投てき練習を禁止する。
- (2) 入場の際は、選手はアスリートビブス（ナンバーカード）、監督・コーチはAD（リストバンドは除く）を提示する。提示のない者は入場できない。また、選手・監督・コーチ以外の立ち入りを禁止する。